

主催者メッセージ 「社会と向き合う美術館」

秋元雄史（金沢21世紀美術館 館長）

皆さん、こんにちは。

お正月から降り続いていた雪もあがって、今日はとても美しい青空が出ています。とても気持ちのいい一日になったのではないかと思います。ご来場いただいた皆さん、本当にありがとうございます。

おそらく、学校現場で実際にお子さんたちと日ごろ接されている方々、先生方、教育普及活動にボランティアで関わっていただいている方々など、広く教育について興味をお持ちの方々においでいただいているのではないかと思います。

2004年に開館した金沢21世紀美術館も今年で5年目を迎えました。開館当初からずっと力を入れている美術館教育、教育普及について一度振り返ってみようと、このシンポジウムを企画しました。いくつか継続している事業がありますが、日ごろは、当館のスタッフも、目の前の個々の事業に追われ、なかなか自らがやっていることを客観的に見る機会は持ちづらいわけです。そういうこともあり、5年を節目として、一度これまでやってきたことを振り返り、次の教育普及のあり方を考える場をつくらうという目的で、このシンポジウムを開催します。

今日と明日の2日間で、とても欲張った盛りだくさんの内容になっています。海外、そして国内から、先進的な活動をされている皆さんにおいでいただいています。

今日の基調講演は、ストックホルム近代美術館の副館長のアン＝ソフィ・ノーリングさんをお願いしています。ストックホルム近代美術館館長のラス・ニッティヴさんは、この美術館の国際アドバイザーとして2004年の開館から関わっていただいています。当館のメインプログラムでもある「金沢若者夢チャレンジ・アートプログラム」は、ストックホルム近代美術館で行われ

ている青少年向けの教育プログラム「ゾーン・モデルナ」を範にして展開しているものです。

その後のトーク・セッションでは、「美術館教育の現在」をテーマとして、海外からお二人、国内からお二人、ゲストをお招きし、当館の学芸課長も入って、様々な事例紹介とディスカッションを通じて、今後の教育普及について考えていこうという展開になっていきます。パネラーとして、ポンビドー・センター国立近代美術館からヴァンサン・ブスウさんに、そして、MAC/VAL、ヴァルド＝マルヌ県現代美術館からステファニー・エローさんにおいでいただいています。国内からは、宮城県美術館の齋正弘さん、そして国立国際美術館から藤吉祐子さんをお迎えしています。どの館も教育普及に力を入れていて、非常にオリジナリティーの高い活動、プログラムを持たれているところです。そして、このトーク・セッションのモデレーターを、岡部あおみさんをお願いしています。武蔵野美術大学の教授をされていて、フランスの現代美術についてもお強いですし、教育現場におられるので、モデレーターとして最適な方であるのをお願いしています。

明日は「鑑賞教育の現場から」をテーマに、現場の先生方からの事例発表も含めて話を展開していきたいと思っています。講演会が2本と、そして事例発表ということになります。ここでは、首都大学東京教授の長田謙一先生、京都教育大学教授の石川誠先生、そして金沢大学附属中学校の教師であります西澤明先生、そして当館の教育普及を担当している学芸員と教育普及担当者から事例発表という形でお話をさせていただきます。

美術館の理念的なところや、役割論みたいなものから、実際のプログラムの事例まで、かなり幅広く、大きな視点から小さな視点まで、話

が広がっていくと思います。ただ、各事業だけを抜き出して云々するだけでなく、美術館や教育普及の役割を相互に関連づけながら話を展開していきたいと思っています。教育普及の各プログラムを考えていくにあたっては、今、美術館が置かれている状況、市民社会と美術館のあり方、そういったものも含めて、どのような教育プログラムであるべきかを考えることがとても重要なのだらうと思います。おそらく、非常に興味深いアイデアも幾つか出てくるでしょうし、そのまますぐに使えるかなと思えるようなものも出てくるでしょうが、その背景、それが生まれてくる考え方に注意を向けていただけたらと思います。

美術館というのは、単独で存在しているわけではなく、地域社会、またもっと広い国際社会といった、社会全般と向きあって活動しているわけで、今の社会の姿、人々のありようと強く結びついている場なのだと思います。そういう社会を想定した人間観というか、哲学を持ってあたらないと、なかなか生きた教育普及をつくり出すことができないだろうと思っています。そう考えると、美術館の使命は、人間の心、精神に深く結びついた活動をするところであるわけですから、教育普及の問題は、美術館を運営する上では重要な問題であるのだらうと思っています。

私自身も、それぞれのパネラーの方のレジュメを拝見しただけですので、どういう話の展開になっていくかはまだ分からないわけですが、教育普及のあり方について、今日ご来場いただいた皆さんと一緒に、考えを深めていければと思っています。長時間にわたるので、最後まで気持ちを途切れさせずにおつき合いをいただければ幸いです。